

〔重修本草綱目啓蒙芳草〕荆三稜

ミクリ。和名
ミヅカド。藝州

ウキヤガラ。伏見
ヤガラ。河州

ロウトウ。播州

一名削堅都尉
藥譜

削堅中尉
轄耕

牛夫月乙
本草

今漢渡ナシ、水澤中ニ多ク生ズ、春後舊根ヨリ苗ヲ生ズ、葉ハ臺葉ニ似テ狹ク厚ク光アリ、一科ニ叢生ス、長サ二三尺、中心莖ヲ出ス、高サ四五尺、三稜アリテ削リ成スガ如シ、葉互生ス、上ニ至リテ漸ク短シ、莖頂ニ三小葉ヲ對生シ、上ニ小叉ヲ分生シ、黃紫色ノ小圓穗ヲ出ス、地楊梅ノ穗ノ形ノ如シ、根ハ芋卵ノ如ク兩頭尖リ黒毛アリ、又三方ニ短莖ヲ分チ、其末ゴトニ嫩根ヲ生ズルコト品字ノ如シ、後漸ク大ニナリテ新苗ヲ生ズ、藥舗ニ賣ルモノ、丹波肥後ノ產ハ皮ヲ去リ易シ、上品ナリ、佐渡ノ產ハ扁クシテ皮ヲ去リ難シ、コレハ救荒本草ニ載スル黒三稜ニシテ、集解ノ黑三稜トハ別ナリ、又勃臍ニモ黒三稜ノ名アリ、黒三稜ハコレモ俗ニミクリト呼ブ、蒲ノ葉ニ似テ狹窄ニシテ三稜アリ、叢中ヨリ圓莖ヲ抽テ、上ニ青毬數塊ヲ貫ヌキテ累々タリ、其毬大サ六七分、慈姑實ニ似タリ、コレ集解ニ謂ユル淮南江蒲根ナリ、藥用ニハ下品トス、又京師ノ加茂川及御菩薩池ニ生ズルモノハ形狀略同ジケレドモ根小サシ、赤黒三稜ノ一種ナリ、別ニ又石三稜、草三稜アリ、增石三稜ハ水陸共ニ產ス、大抵三稜ノ葉ニ似テ硬クシテ短シ、長サ僅ニ一二尺、春月別ニ莖ヲ生ジテ、ソノ末ニ枝ヲ分チ各穂ニナリテ花ヲ開ク、黒色ニシテ正中ニ白キ蕊アリ、實熟スレバソノ穗瘦テ下垂ス、一種山中石間ニ生ジテ、形小ク葉細キモノアリ、イワスゲト名ク、

〔古今和歌六帖六〕みくり

戀すてふさやまの池のみくりこそ引は絶すれ我やねたゆか

〔源氏物語玉籠二十二〕ものまめやかに、あるべかじくかき給て、はしにかく聞ゆるを、

玄らすとも尋て玄らんみしま江におふるみくりのすちはたえじを、となんありける

○略中ま

づ御返をとせめてか、せ奉る

○略中